

# 山口県海外ビジネスサポートデスク 通信



**6月13日海外ビジネス展開を支援する「山口県海外ビジネスサポートデスク」が開設しました！**



東南アジアの中心に位置するシンガポールにサポートデスクを設置しております。シンガポールのみならず、ベトナム、タイ、マレーシア、台湾のご相談も可能です。デスクはシンガポールの中心部・ラッフルズプレイスに位置し、アクセスの良い立地となっておりますので、皆様シンガポールにいらした際は是非お立ち寄りくださいませ(その際は事前にご連絡をお願いいたします！)。おすすめのローカルフードもご紹介します！

## 【サポートデスクメニュー】

□海外展開に関する相談 □各種調査・情報提供 □セミナー開催 □販路開拓・商談サポート支援 □展示会出展支援

## 今月のデスク活動

### 半導体分野の国際展示会、「SEMICON TAIWAN2024」@台北に、山口県ブース出展します！

海外市場において、山口県内企業の販路開拓・拡大を目指し、本年度も「SEMICON TAIWAN2024」に出展します。

- ・展示会：SEMICON TAIWAN2024(<https://semicontaiwan.org/en>)
- ・会期：2024年9月4日(水)～6日(金)
- ・会場：TaiNEX1, 2(台北市)
- ・山口県ブース出展企業：5社

### SEMICON TAIWAN2024 出展予定の企業様と事前打合せを実施しました。

今年9月に台湾にて開催される国際半導体展示会へ出展される予定の企業様へオンラインにて面談を実施しました。展示会出展内容、目的及び商談希望先の企業情報のヒアリングを行い、展示会に向けてお打合せをさせて頂きました。今後、各社様の展示会用販促資料作成・中国語繁体字翻訳、事前マッチングの準備を着実に進めて参ります。

### 各種調査・個別相談を随時に受け付けております！

たくさんの企業様にご相談のお申し込みを頂いております。ありがとうございます。ご相談内容に合わせて個別面談を実施しております。どんなご相談が来ているのか皆様にもちょこっとシェアさせて頂きます！

## 事例 1.

精密板金加工・鉄道車両製造の企業様「台湾 量子分野の開発企業」についての情報提供の依頼

⇒利用メニュー 事業展開相談、各種情報収集

過去海外展示会出展の状況も踏まえ、関連情報も提供のご希望がありました。

日本のインターネット上では拾えない情報を現地調査員が調査中。情報を纏めレポートにてご提供させて頂く予定です。

## 事例 2.

食品加工企業様「現在海外拠点の準備中、将来的には販路開拓等のマッチングを希望するが、まずは情報収集から始めたい。」

⇒利用メニュー 海外展開に関する相談、各種情報収集、販路開拓

世界への販路拡大を計画中とのこと。デスクと面談をし、販路開拓にあたり情報収集から始めたいとのこと。

今後はオンラインにて打合せ後、ご提案をしています。

(文責：株式会社日本アシスト 張)

## 現地からお届け！ 最旬情報 -シンガポール編-

現地の生の情報がリアルタイムでお伝えしていきます！

毎月各国の「旬」な情報を現地からお届けいたします！

第 1 回はシンガポールデスクよりお届け。

～世界経済が混沌とする中で、シンガポールはどうか？

～多くの国で、インフレが高止まりしていますが、シンガポールはどうか？

～円安はどのような影響をもたらすか？

...

そんな皆様が気になる疑問にお答えします。



### シンガポールの経済情報

シンガポールの通商産業省のレポートによると、2024 年のシンガポール経済は、全体的に堅調な成長を示しています。第一四半期には前年同期比 2.7%の成長を記録し、これは主に金融、保険、運輸、卸売貿易部門のパフォーマンスによるものです。政府は年間の GDP 成長率を 1%から 3%の範囲で予測しています。この成長は、コロナ後の観光業の復活や国内消費の回復によって支えられ、シンガポールで生活する筆者も、街中に溢れる観光客の増加は身をもって感じられます。

一方では、シンガポール経済は依然として外部リスクにも直面し、インフレ率は安定していますが、2024 年の全体的なインフレ率は 3%から 4%と予測されています。また、地政学的な緊張や中国経済の減速など、世界経済の不確実性がシンガポール経済にも今後影響を及ぼす可能性があります。

### 国内の物価高における市場状況

シンガポール国内の物価高は、国民や日本人をはじめそこで生活する者にとっては大きな懸念事項となっています。特に食品価格や住宅コストの上昇が目立ちます。上述のとおり、2024 年のインフレ率は 3%から 4%と予測されており、主に外部要因によるものです。がエネルギー価格の上昇や供給チェーンの混乱が物価上昇の主な要因となっています。従って、物価高の中で、一般的な消費者は支出を抑え、節約志向を強めており、よりコストパフォーマンスの高い商品やサービスを選ぶ傾向が見られます。

また、デジタルプラットフォームを活用したオンラインショッピングの利用が増加し、価格比較が容易になっています。これにより、消費者はより賢い買い物をするようになっていきます。

しかし、他の東南アジア諸国と比べると、シンガポールはアジアでもトップクラスの所得水準を誇り、高い購買力を保持しています。言い換えれば、しっかりとした品質の高い日本の商材の受け入れられるチャンスは大いにあると言えます。シンガポールの消費者はエコロジー意識が高く、サステナビリティに配慮した商品やサービスを選ぶ傾向があります。

### 昨今の円安におけるシンガポール人の日本への旅行意欲

このレポートを書いている7月4日に為替レートが「1シンガポールドル=119円」に達しました。筆者がシンガポールで起業した2011年の為替レートは1シンガポールドルで60円程度だったことを思うと、円の価値が半減したことに驚愕しています。当然ながらこの、円安の状況は、企業の駐在員をはじめ、シンガポールに住む日本人コミュニティに大きな影響を与えています。

この円安は、シンガポール人の日本旅行への意欲を大いに高めています。為替レートが有利に動いているため、日本での旅行費用が安く抑えられることが、シンガポール人にとって大きな魅力となっています。筆者の友人が「日本は毎日バーゲンセールをやっている状況だ」とも言っているくらい、物価高のシンガポールの買い物に辟易したシンガポール人の多くが、日本での買い物や食事を楽しむために頻繁に日本旅行をしています。例えば「シンガポールで食べるお寿司がいかにか高いのか」、「シンガポールで売られている日本の商材がいかにか高いのか」をよく理解していますので、以前のとおり「日本のものだから売れる」という状況ではなく、消費者の商品選択の基準もシビアになってきています。

当地における日本食レストランに関しては、ミシュランの星をとったような高級店が苦戦しています。経営側としてシンガポール全体の物価高、そして家賃、人件費、食材仕入れ価格の高騰などが重なったことが原因です。また、シンガポールで高い日本食を食べるのであれば、上述のとおり、この円安の最中に日本に旅行に行き、まとめてたくさん安く美味しいものが食べたほうが良いと思うシンガポール人が多くなったこともあります。高級店の閉店が多い一方で、これまでにない日本からの新しいコンセプトを持ったカジュアルなレストランやスイーツショップは行列ができるなど需要はまだまだあると言えます。

### 最後に…

物価高の続くシンガポールですが、それでもシンガポールに進出する企業は多く、トップクラスの所得水準と高い購買意欲のある市場ですので、高付加価値の商材やサービスに対する高い需要は続き、高品質な製品やサービスを提供することで山口県企業の利益を上げる機会はさらに増えていくと予測されます。また、円安が加速する中で、この円安は山口県企業にとっても輸出競争力を高める要因となり、シンガポール市場への進出を後押しすることにもなるかと思えます。この状況をチャンスと捉え、山口県企業の商材がシンガポールで認知を高め皆様の利益に繋がるようサポートしていきたいと思えます。

(文責：NIHON ASSIST SINGAPORE PTE.LTD. Managing Director 関 泰二)

